

居合道 だより

第 186 号

謹
賀
新
年



はじめに

『 継続こそ力なり 』

居合道部 理事 津村 久美

明けましておめでとうございます！！

新しい年となりました。

昨年はコロナの再拡大もありましたが、オリンピック、パラリンピックという久々に明るい話題で感動し、また民間人が宇宙へ行くという夢のようなことも実現され、半世紀前にアポロ11号が月面着陸した興奮を思い出しました。

時代が大きく変わっていくような予感を感じています。

私が居合道を始めるキッカケですが、40才のときに知人から「見学だけでいいから。」の一言を断れずに見に行き、そのまま入会となった、それが始まりです。

指導の大範士から「見て覚えなさい。」と言われましたが、見ても聞いても分からない... つらい、つらい週一回の稽古でした。

学生時代に剣道をやっていたこともあり、途中で投げ出すことには抵抗が有りましてし、

仲間との稽古後の会話が楽しく、続けることができました。週一回の稽古でも、何年も経つとそれなりに慣れるものです。

でも慣れるだけでは上手くなる、進歩する訳はありません。その転機を作ってくれたのが「昇段審査」です。

五段の審査に失敗し、はじめて「このままじゃ、ダメ」と負けず嫌いに火が付いた気がします。

これを契機に、道場隣で少年剣道を指導されていた北九同好会松野道場の故松野晋輔先生に指導して頂いたり、出稽古を積極的に行うなど、諦めないで続けたことが今に繋がっていると思います。

これから幾つになっても続けるために、日々稽古を重ねていきたいと思っています。女性で唯一の理事をさせて頂いていますが、困ったり悩んだりしていることが有りましたら、親身になってお話を聞きますので遠慮なく相談してください。

今年は、県の行事・全国の各大会なども実施されることを願います。

以上





新年のご挨拶

福岡県剣道連盟 居合道部 会長

迫野 康雄

謹賀新年

あけましておめでとうございます。今年も福岡県剣道連盟居合道部の発展にご尽力、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、去年はコロナ禍で明け暮れでしたが、秋の終わり辺りより感染拡大第5波が急に収まりを見せてきましたが、最近になってまた、オミクロン株なる感染力の強い変異株が海外より徐々に感染拡大し始めており油断はできません。

マスク着用、手洗いなどの消毒、3密回避、ワクチン接種など感染予防に今年も気をつけていきましょう。

体力は気から...「もう」を「まだ」に切り替える。

人から「いくつになられましたか？」と聞かれたとき、貴方はどんな風に答えていますか。

「もう、55歳になりました。」とか「もう、70歳です。」と答えていませんか？

その方は、これから「まだ55歳です。」とか「まだまだ70歳です。」と言い換えてください。そうすると、気分がずいぶん若返るはず。そして気分が若返れば、身体も生き方も若返るものです。

反対に「私はもう・・・」とか「俺はもう・・・」と、もうもう気分していると、もうろくに拍車をかけることになってしまいます。

「もうダメ」ならば本当にダメになってしまいますが、「まだまだこれから頑張るゾ」で元気、気力が湧いてきます。

実は、言葉は我々が想像している以上に、心に与える影響が大きいのです。

ですから、自分が自分に常に肯定的に物事をとらえる言葉を言い聞かせることが大切です。

「己の出来ることを見極める!!」

自分でどうにかできる程度のものやったら悩まなくて良い。自分でどうしようもない大きな悩みやったら、どうにもならない、つまり悩むだけ無駄である。

今年はコロナ感染症、速く収束して会員皆様方が安心安全に集う日が来ることを願っています。今年もご尽力、ご協力をよろしくお願いいたします。



1月・2月の予定

1月9日

福岡県居合道部初稽古会

福剣連

福岡武道館

編集後記

あけましておめでとうございます。

最近昭和時代の正月風景ってのをよく思い出します。

いろいろ決まり事が各家庭にございまして、年末は大掃除、餅つき、お節料理の用意、大晦日は我が家は大掃除、買い物、散髪行って、釣りは貰ってくるなど言われご祝儀でお渡しする、早めに風呂に入り、お飾りを飾り洗濯物まで年内に済ませるというウルトラC難度な事までやっておりました。昔は3日間どこも店が空いていなくて、3日分の食料の買い溜めをするので市場の中なんてまともに歩けない。10メートル進むのに15分ぐらいかかっちゃうんです。牛歩どころかナマケモノレベル。買い物もお金払うのもお釣りもらうのも投げ合いしてたので（事実です）、人が少なくなった時によく見て歩くと小銭やら落ちてたりしてました。地見屋なんかも出現して拾い歩くんですwww

四苦八苦の末、やっと年越しそばにありつき、レコード大賞を見て、その後は紅白歌合戦、終わったら近くの寺へ除夜の鐘付きか神社へ初詣。

明けて元旦には、祝箸に名前を書いて、お屠蘇の用意、年頭の挨拶してお年玉をもらって、この日だけは子どもも酒飲んでも黙認された。（もう時効ですからw）

雑煮はうちはすまして、水菜、焼いた丸餅が2個とシンプルなものですが、福岡ではアゴ出汁でブリが入るらしい。なんとも優雅で豪勢ですね～

ちなみに、元旦だけは何やっても怒られない不思議な日で、子ども心に、こんな日が続けばいいのに～と思ったら2日にはころっと態度が変わり元旦の分まで怒られて「なんでやねん！」と思いつつ.....でもこの日はそんなことに構ってられない、親戚の寄合に行き、来る人来る人飛んでいって挨拶して愛嬌を振りまく。何て現金なお子様たち^^; そこから親戚中で花札大会やカブの勝負が始まりお年玉の争奪戦が始まる。ま、勝とうが負けようが、後で吸い上げられるのです。結局負けても返ってくるのですが、「貯金」という名の情け容赦ない徴収でその後に自分の手に戻ることはないのであった～よくできた現金循環システムだなあ（苦笑）

正月は子供の方が金持ちだ～と親が嘆きますが、ごもっとも！最近じゃ徴収するとネグレクトだのなんだの返り討ちにあいます。だからいつもポチ袋の中に「ほんの気持ち」とか「玉」って紙だけ入れといたろか！って毎年思いますが、後が怖いので思いとどまって財布の中が軽～くなるまで小さい袋に詰め込むのであります。毎年その度に、「あたま」をがっくり落とすのです。今年もよろしくおねがいします。m()m

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第186号 令和4年1月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社FEW